

「私の呼ばれ方」

お茶の水女子大学附属小学校教諭

お茶の水女子大学サイエンス&エデュケーション研究所 研究員

田中 千尋 Chihiro Tanaka

私の今年度の立場は、「第1学年副担任」ということになっている。6年生の理科も全クラス(4クラス)受け持っているが、6年生はもちろん「田中先生」または「千尋先生」と呼んでくれる。しかし、1年生はちがう。各担任の先生は、苗字か名前に「先生」をつけて呼ばれているが、私だけは実にさまざまな呼ばれたかをしている。要は「あの人は何者なのか？」がよくわかっていないのだろう。「フクタンニンって誰？」ということなのだ。入学式から約3か月が経過したが、今までに呼ばれた「呼び名」をメモしておいたものを列記してみよう。

呼ばれ方	解説
田中先生	今のところ一番多く、やっとな安定してきた呼び名。
千尋先生	担任は下の名で呼ばれることが多いので、それにならった呼び名だろう。これも結構多い。
田中千尋先生	フルネーム。これも結構多い。
タナカ!	なぜかアクセントが「タ」にある。しなの鉄道の駅名と同じアクセント。敬称なし。
タナカくん	非常に親しみがある。残念ながら、教師の呼び名としては甚だ不適當。
博士 あ、博士!	6年の授業に行く前後に白衣でいることが多いので、こう呼ばれることが多い。2年生や3年生も、なぜかこう呼ぶ子が多い。実際は「博士」ではなく「修士」
田中博士	すごくカッコイイ呼び名。気に入っている。
お茶の水博士	何となく合っているが、髪型も職業も鼻の形もちがう。
理科の先生 理科室の先生	事実と合っている。氏名を覚えていない子がこう呼ぶ場合が多い。
お医者さん	入学から数週間は、本当にそう思

	っている子が多かったようだ。
歯医者さん	乳歯が抜けると、歯の名称を教えて、カード付の袋に入れてあげるの。
校長先生	今でもそう思っている子が、一定数いる。平の教員だが。
お父ちゃん	一時期大流行していたが、今は下火になった。
パパ	時々間違えて呼ばれる。
こわい先生	こわそうに見えたのだろう。
白衣の先生	そのまま。事実と合っている。
メガネ先生	これも事実と合っている。
マスク先生	全教員共通だとは思いますが・・・
石の先生	子どもたちが持ってきた、鉱物や岩石の鑑定をよくしているのが原因だろう。
ちひろちゃん	親しみをこめて・・・なのだろうが・・・NG。
ちーちゃん	上記の派生形。実は子どもの頃はこう呼ばれていた。
たっちゃん	これははじめて呼ばれた。たなかの「た」の愛称なのだろう。
たなちー先生	たなかちひろの略称。
ちー先生	さらに省略形。
クマ先生	全く由来不明。
キツネ先生	これも由来不明。
日直の先生	担任の代理で児童玄関に立っていることが多いので、こうなった。
ひまな先生	そう見られても仕方ないだろう。
あばれ先生	決して暴れていないのだが・・・
スポック先生 (1人のみ)	毎日帰る時に、「バルカンサイン」をしているの。
絵の先生	毎日、1年生の入口にあるホワイトボードに、絵入りのメッセージを書いているの。
くそじじい! (1人のみ)	猛烈に機嫌の悪そうな子に、一回だけこう呼ばれた。人生初体験。

まあ、よくもこんなに呼ばれ方が多いものだ。はやく全員が「田中先生」と呼ぶように、粘り強く指導しようと思っている。